

広報 なかもと

毎月10日発行 3/10 1999
《No.392》

春を追いかけ雪上運動会



おもな内容

2～4ページ 中期基本計画の概要
5ページ 児童住宅資金・奨学金
4月から貸付予定
6ページ 柳田町立小・中学校に参加
7ページ 消費税4月からスタート
8～9ページ みんなの広場
10～11ページ お知らせ
12ページ 行事予定表 お忘れなく

私たちの村の

■人口 男 3,391 (－2)
女 3,389 (±0)
計 6,780 (－2)
■世帯数 1,631 (±0)
() 内は前月比

行事予定表

3月11日～4月10日

12(日)	休日救急区 (津南病院 ☎65-3161)
13(月)	糖尿病教室 (右参照)
14(火)	健康づくり事業 (右参照)
15(水)	高齢者講座 (10:00～ クラブ活動 老人福祉センター 13:00～ 今年度の反省会 総合センター)
16(木)	健康づくり事業 (右参照)
17(金)	心配ごと相談日 (老人福祉センター 13:00～16:00 相談員 樋口永蔵)
19(日)	休日救急区 (千手診療所 ☎68-2034)
20(月)	農家相談日 (中里村役場農業委員会 8:00～17:00)
21(火)	春分の日 休日救急区 (大島医院 ☎52-2957)
24(金)	心配ごと・行政相談日 (老人福祉センター 13:00～16:00 相談員 藤田義一、山田正平) 母親学級、妊婦検診、献血 (右参照)
25(土)	雪原カーニバル'99 (P10参照)
26(日)	雪原カーニバル'99 (P10参照) 休日救急区 (中条病院 ☎57-3018)
31(金)	心配ごと相談日 (老人福祉センター 13:00～16:00 相談員 江口行男)
1(日)	休日救急区 (上村病院 ☎63-2111)
3(月)	交通事故移動相談所 (十日町市役所 10:00～15:00)
5(水)	献血 (右参照)
7(金)	胃ガン検診 (右参照)
8(土)	胃ガン検診 (右参照)
9(日)	休日救急区 (津南病院 ☎65-3161)
10(月)	交通安全家庭の日 心配ごと相談日 (老人福祉センター 13:00～16:00 相談員 根津 敬)

※変更する場合があります。御用の際は担当課で確認を。

第2回信濃川河岸段丘ウォーク参加者募集!

信濃川沿線(津南町～小千谷市)の市町村など主催の
信濃川河岸段丘ウォークにあなたも挑戦しませんか。
◎と き 4月29日(緑の日)
◎コース ④津南→小千谷52km ⑤中里→小千谷42km
⑥川西→小千谷22km ⑦小千谷市内 12km
◎申込方法 4月10日までに公民館へ☎63-3111(代)・2493



大東亜戦争たけなわのころは、
二十代前後の若者たちが勤労奉仕
に駆り出され、公共施設の修理等
の労務に服したものです。そんな
時代の中、息抜きのひとつとして
村の青年団による演芸会を尋常小
学校の体育館でやりました。
桂部落の青年団も参加し、「三
宝音頭」に合わせ踊りを披露しま
した。この写真は、帰り際、部落
の神社脇で撮ったものです。右端
の衣装を着ていないのが私です。
その後、間もなく終戦となりま
したが二度と戦争の起こらないこ
とを願ってやみません。

桂 村山友二さん

思い出の一枚 50

みなさん お忘れなく



■糖尿病教室

3月13日/保健センター/対象者に通知

■健康づくり事業

3月14日/土倉分校/9:30～14:00/土倉
3月16日/倉下克雪センター/9:30～14:00/倉下

■妊婦検診

3月24日/上村病院/13:30～14:00

■母親学級

3月24日/上村病院/12:45～13:00/家族計画

■胃ガン検診

4月7日/保健センター/8:00～11:00/芋沢、田沢、
東田沢、豊里、市之越、鷹羽
4月8日/保健センター/8:00～11:00/田中、荒屋

■献血

3月24日/保健センター/10:00～15:00
4月5日/保健センター/10:00～15:00

今月の表紙



清田山雪上大運動会が、
三月四日に行われました。
この運動会は毎年春を呼
ぶために行われるのですが、
今年はどうやら先に春が来
たようです。柔らかな雪に
足をとられながら、清田山
のとうちゃんかあちゃんか
一生懸命走り回りました。

個性あるふるさとづくりに前進

中里村総合開発計画

21世紀に向け

中期基本計画

いよいよスタート

村では平成元年度を初年度とする向こう五カ年間の「中里村の羅針盤」ともいえる中里村総合開発計画「中期基本計画」の策定を進めています。今回は平成五年度を目標に村が行う各分野の仕事を表した中期基本計画のあらましを紹介いたします。なお、この「中里号」が無事航海できるよう村民のみなさんの参加と協力をお願いします。



いつまでも残したい伝統芸能（田代神楽）

計画策定の趣旨

村では「自然と調和しやすらぎと活力ある住みよい村」づくりを目指して昭和五十九年に「中里村総合開発計画」を定めて村づくりを進めてきました。この計画の期間は昭和五十九年度（昭和七十七年度）平成七年度までの十二年間となっています。村づくりは短期間ではうまくいきません。長い年月とたくさんのお金がかかります。長期的展望に立って、住民のみなさんの要望を取り入れた効率的な村づくりを進めていくために総合開発

基本計画の方針と性格

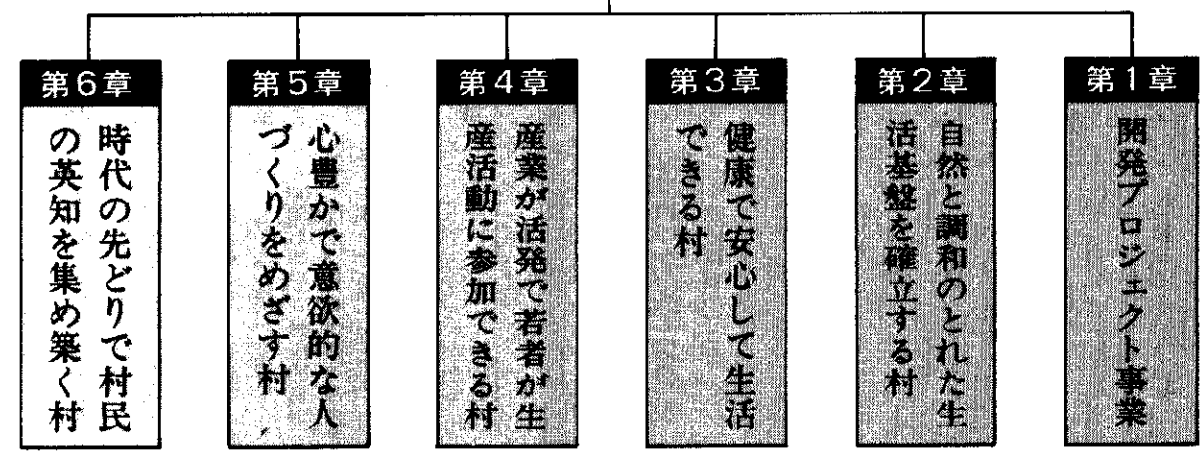
計画期間は平成五年度までの五カ年間です。みなさんから昨年答えていただいたアンケートの結果を参考にしながら一年間かけて策定されました。村内外の有識者をメンバーとする総合開発計画審議会の審議を経て、村議会に報告をした後村内全戸に配布されます。昭和五十九年度からの方針を貫きながら、住民全般の生活様式の高制度化、意識の多様化に応じていくことを心がけています。農業の状況、就業構造や通勤事情の実態、過疎化現象や高齢化等の著しい地域構造の変化がみられます。一方では高速交通体系、高度情報化社会、ふるさと

創生、リゾート開発といった新しい動きもあります。これらの多くの課題を幅広く考えてつくられた今回の中期基本計画は、次に紹介する第六章より構成されています。

この中の大きな特徴は、五つの事業からなる開発プロジェクト事業が組まれたことです。これは、村の課題であります雪対策と農林産業の振興、人と人との交流推進による人づくりが特徴となっています。現在から将来に向けて村が重点課題として取り組んでいく姿勢をより明確にしたことです。

- 平成元年度からスタートする村づくりを、みんなで力を合わせて成功させましょう。
- （中里村総合開発計画）
- 基本構想
- 昭和59年度～平成7年度
- 前期基本計画
- 昭和59年度～昭和63年度
- 中期基本計画
- 平成元年度～平成5年度
- 後期基本計画
- 平成6年度～
- 実施計画
- 三年ローリング

自然と調和しやすらぎと活力ある住みよい村



第1章 開発プロジェクト事業

この章は、今回新しく組まれるもので次の五節で構成されています。

(1) はつらつ雪国 環境づくり

この地域で生活していくためには、雪との係り合いは決して逃れることができないのが現実。雪とどのように対応していくかが大きな課題となっています。雪の持つ克服すべき面、活用すべき面等の課題に対応した施策を進めて行きます。

- ①雪資源総合研究事業②道路網整備促進事業③児童住宅整備促進事業④利雪産業推進事業⑤スノースポーツ推進事業⑥雪国文化創造事業

(2) ウィ・リゾート中里 大規模拠点づくり

新潟県の「マイ・ライフ・リゾート新潟」構想の地域指定を受けています。この構想の実現による地域活性化

化を目指して、拠点施設の整備を進めて行きます。

- ①当間山麓地区開発事業②小松原地区開発事業③高津倉山地区開発事業④清津峡地区開発事業⑤清田山・七ツ釜地区開発事業⑥城山・有倉山地区開発事業⑦高速交通体系道路整備事業⑧資源開発探索事業

(3) 自然を生かした 産業づくり

魅力ある地域を作るには、魅力ある働き場の創設が大切。中里村の持つ地域特性、課題を十分踏まえ、他地域に対し誇れる質の高い運動を展開し産業おこしを目指します。

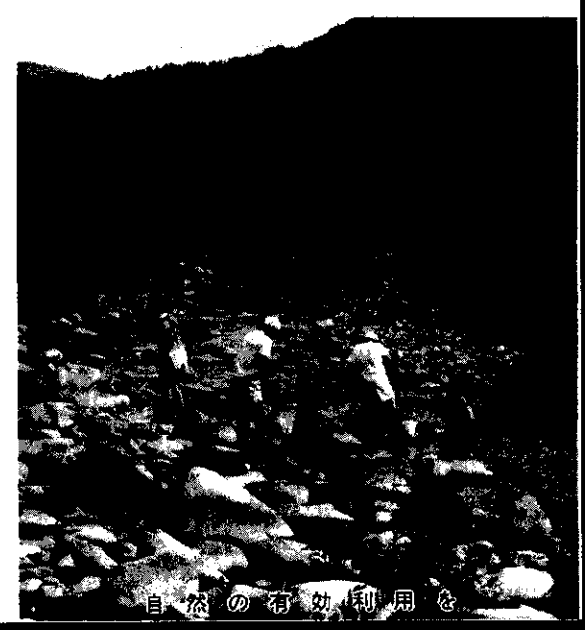
- ①生活基盤整備事業②加工施設整備事業③新製品技術開発推進事業④販売流通経路開拓事業⑤地場産業振興センター設立事業

(4) 快適居住空間 理想の里づくり

都会の街角で「どこに住んでいすか」と問われたとき、「中里村です」と胸を張って言える地域づくりが私たちの願いです。暖かい心、やすらぎのある環境づくりを住民の話し合いを大切にしながら進めて行きます。

(5) ふれあい中里 体験づくり

- ①生活水等総合活用整備事業②下水道等モデル整備事業③情報通信計画樹立事業④市街地再開発事業⑤商店街近代化事業⑥地域景観整備事業⑦集落住環境整備事業



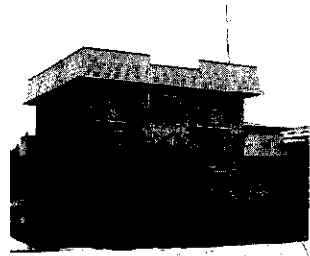
自然の恵みを利用を

新たな体験や多くの人の出合いは、活力ある村づくりの基盤となるものです。チャレンジ精神を養い、人とのつながりを深めることを通じ、全ての活動の基礎となる人の和づくりの環境整備に努めます。

克雪住宅等資金

入学準備金・奨学金

4月から 貸付開始予定



融雪式
屋根の上で融雪できる
施設を備えた住宅



落雪式
床高が1.5m以上で人
力によらずに落雪でき、
近隣に迷惑をかけない
住宅



高床式
床高が2.0m以上の住
宅



耐雪式
2.5mの積雪に耐えら
れる住宅

融雪式

【貸付対象になる建物及び工事費】
左の写真のような融雪式、落雪式、高床式、耐雪式の克雪専用住宅、併用住宅を

雪下ろしよサヨウナラ 克雪住宅等建築に3.5%で融資

村では新年度から「克雪住宅等資金」「入学準備金・奨学金」の二つの貸付を実施しようと準備を進めています。克雪住宅等資金貸付は、雪下ろしの苦勞がかららない克雪住宅を普及させるために建設資金の一部を低利で、また、入学準備金・奨学金については、これまでの少人数、低額であった育英資金制度を変え、高等学校から大学までと幅を広げ無利息で貸し付けるといいます。計画している概要をお知らせしますが、予算を伴いますので詳しいことは三月議会終了後追ってお知らせします。

落雪式

新築や増築、改築した場合は一般住宅との差額とし、改良は屋根工事費のすべてが対象となります。

高床式

【返済期間】
十年以内です。
【取扱金融機関】
第四銀行十日町支店、新潟中央銀行中里支店、中里村農業協同組合です。
【申し込み方法】
四月一日から八月三十一日までに取扱金融機関の申込書により役場経由で申し

耐雪式

区分	貸付額
高等学校	二十万円以内
高等専門学校	三十万円以内
専門学校	四十万円以内

入学準備金

大学入学には 40万円の準備金が無利息で

【貸付額】
貸付対象工事費の八十パーセント以内で五十万円以上五百万円以内の予定です。(十万円単位)
【貸付利率】
年利三・五パーセントです。
【返済期間】
十年以内です。
【取扱金融機関】
第四銀行十日町支店、新潟中央銀行中里支店、中里村農業協同組合です。
【申し込み方法】
四月一日から八月三十一日までに取扱金融機関の申込書により役場経由で申し

区分	貸付額
高等学校	二十万円以内
高等専門学校	三十万円以内
専門学校	四十万円以内

【貸付利率】
無利息です。
【貸付期間】
貸付開始の月から学校の正規の修業期間が終了する月までです。
【返済方法】
貸付期間終了後、六ヵ月据え置き貸付期間に相当する期間内に返還しなければなりません。

第2章 自然と調和のとれた生活基盤を確立する村

- 活力ある住みよい村の建設を実現するために、人間生活の基盤である土地利用をはじめとした基礎的諸条件の整備に向け、次の五節十一項目で構成されています。
- (1) 土地利用
 - (2) 土地利用計画
 - (3) 水源の確保
 - (4) 雪の克服と積極的利用
 - (5) 自然環境の保全

第3章 健康で安心して生活できる村

- 健康は人類永遠の願いであり、幸福の根幹をなすものです。
- このため村民すべての人が健康で明るく安心して日常生活を営むことができるよう安全な生活環境づくりと、幼児から老人まできめ細かい思いやりのある福祉の充実を推進するために四節二十三項目で構成されています。
- (1) 安全な生活の確保
 - (2) 生活環境の整備
 - (3) 保健衛生
 - (4) 社会福祉の充実

第4章 産 業が活発で若者が生産活動に参加できる村

- 道路交通網の整備が進み、ほぼ全集落に通年交通が確保されていますが、より一層産業基盤の整備充実を推進するために八節九項目で構成されています。
- (1) 農業の振興
 - (2) 林業の振興
 - (3) 水産業の振興
 - (4) 商業の振興



スタートして15年目を迎えた歯科診療所

第5章 心 豊かで意欲的な人づくりをめざす村

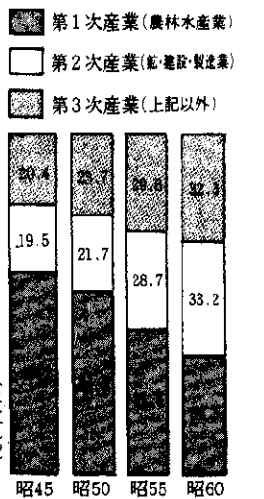
- 生涯教育の観点から学校はもちろん、家庭、社会、職場などあらゆる場において教育文化、体育活動の促進をはかりながら積極的に教育環境整備を推進するために、四節十項目で構成されています。
- (1) 学校教育の整備充実
 - (2) 社会教育の推進
 - (3) 社会体育施設の整備
 - (4) 文化の高揚

第6章 時代の先どりて村民の英知を集め築く村

- 村民が村政に積極的に参加できる体制づくりを進め多様化・高度化する行政需要に対応できる合理的な行政運営を推進するために二節四項目で構成されています。
- (1) 住民参加
 - (2) 行政の合理化
 - (3) 広域行政の推進

村の産業別構成比

資料：国勢調査





広域組合のお台所

十日町市、津南町、川西町、中里村の4市町村が資金を出し合って広域的に消防活動、総合福祉センター（御陣荘）、と畜場の各事業を行っている十日町地域広域事務組合の財政事情（昭和63年12月31日現在）をお知らせします。

組合債の現在高状況（単位：万円）		組合財産の状況	
目的（事業名）	金額	建物	9,917.95㎡
消防庁舎建設事業	4,650	基金	556万円
消防施設整備事業	24	土地	所在市町村より借地
地域総合整備事業	2,350	その他	温泉利用権
総合福祉センター建設事業	1,607		
と畜場整備事業	9,401		
合計	18,032		

昭和63年度 各会計予算執行状況（単位：万円）					
	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	84,658	59,120	69.8%	55,662	65.7%
総合福祉センター特別会計	1,584	1,657	104.6%	1,069	67.5%
と畜場事業特別会計	3,635	3,324	91.4%	2,278	62.7%
合計	89,877	64,101	71.3%	59,009	65.7%

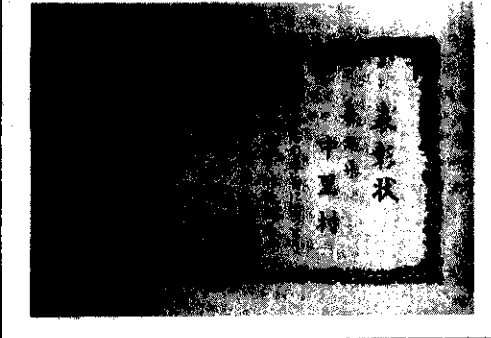
昭和63年度 市町村別負担金状況（単位：万円）					
	一般会計	総合福祉センター特別会計	と畜場事業特別会計	合計	構成比（%）
十日町市	36,042	30	798	36,870	49.4
川西町	11,831	22	139	11,992	16.1
津南町	15,830	966	337	17,133	23.0
中里村	8,476	25	98	8,599	11.5
合計	72,179	1,043	1,372	74,594	100.0

災害出動状況（63.4.1～63.12.31）						
	十日町市	川西町	津南町	中里村	圏域外	合計
火災出動（林野火）	11	4	6	1		22
救急出動	600	110	134	54	19	917
その他の災害出動	15	4	9	4	1	33
合計	626	118	149	59	20	972

総合福祉センター及びと畜場利用状況（63.4.1～63.12.31）						
	十日町市	川西町	津南町	中里村	圏域外	合計
総合福祉センター	438	136	15,178	422	439	16,613人
と畜場	3,415	1,880	4,218	662	911	11,086頭

優良町村で 全国町村会も表彰

中里村の将来像「自然と調和しやすらぎと活力ある住みよい村」づくりへ向け、着実に成果を上げてきているとして、このほど全国町村会から表彰されました。なお、県内からは南蒲原郡味方村との2村でした。



中型バスで通年運行

宮中線・田代線発車オーライ



今まで越後交通線が運営してきた十日町―宮中―中里―田代線は、このほど同社の子会社である越後交通観光バスによって運営されることになり、三月一日

しかしながら、十日町市側の民有地（段丘部分）の開発会社が決まらず、この新会社を設立したものです。

切なものとなってきます。当村では、これらの背景のもと、十日町市側が第三セクター設立に際し、当村の資本参加を強く望んでいたこと、今後進められる開発が地域の将来のためになるものに指導監督する立場から、あえてこの新会社に参加することとしたものです。

新会社は、新潟県、十日町市、中里村と鹿島建設株式会社と共同で、民間二十四社で構成されたもので、資本金は三億円です。

中里―宮中―土市線											
中里役場前			中里役場前			中里役場前			中里役場前		
中	里	宮	中	土	市	土	市	宮	中	中	里
役場前	発	口	発	市	市	市	市	口	発	役場前	着
7.15	7.21	7.35	7.35	7.49	7.55	7.55	8.01	8.15	8.50	9.04	9.10
10.45	10.51	11.05	11.30	11.44	11.50	12.30	12.36	12.50	13.20	13.34	13.40
15.30	15.36	15.50	16.00	16.14	16.20	17.20	17.26	17.40	17.50	18.04	18.10
17.55	18.01	18.15	18.35	18.49	18.55						

中里―倉俣―田代線											
中里役場前			中里役場前			中里役場前			中里役場前		
中	里	田	中	田	田	中	田	田	中	田	里
役場前	発	代	役場前	代	代	役場前	代	代	役場前	代	着
7.55	8.20	6.50	7.15	11.40	12.05	7.30	7.55	13.40	14.05	9.15	9.40
15.30	15.55	12.05	12.30	18.10	18.35	15.05	15.30	16.55	17.20		

消費税

今年四月一日から、新しい消費税がスタートします。この消費税は、商品やサービスの売り上げにかかる間接税で、税金は価格に上乗せされ、最終的には消費者が負担しますが、納税は製造・卸・小売の各事業者が行うことになっています。そのため各事業者の方には、消費税の仕組みはもろろんのこと、納税事務の手続きをいち早く知っていた必要があります。税務署では、消費税についてのいろいろな疑問に答えるため事業者の方に対して、説明会を開催したり、詳しいパンフレットを用意していますので、ぜひご利用ください。

（消費に広く課税）
消費税は、消費に広く薄く負担を求めている。国内のほとんどのすべての取引に課税し、三％（普通乗用車は平成四年三月まで六％）の税率で課税される。ただし、土地や有価証券の売却、預金の利子、医療、福祉、教育の一部などには課税されません。また、輸出については免税となる。

四月からスタート

「納税義務者は」
消費税を最終的に負担するのは消費者ですが、消費税を実際に納税するのは事業者です。ただし、個人事業者については前々年、法人については前々事業年度（これを「基準期間」といいます）の課税売上高が三千万円以下の事業者の方は、納税義務が免除されますので、申告・納税の義務はありません。

なお、このような免税事業者でも、課税事業者となることを選択できます。

（納付税額の計算）
税額の計算は、課税期間（個人事業者はその年、法人はその事業年度）中の売上げに對する税額から、同じ期間中の仕入れに含まれる税額を差し引くだけです。

なお、仕入れに含まれる税額の方が多ければ還付されます。

年間課税売上上げ×3％
年間課税仕入れ×3％
納付税額

（簡易課税制度）
基準期間の課税売上高が五億円以下の課税事業者について、課税売上高にかかる税額の八十％（卸売業者は九十％）を課税仕入れに含まれる税額とみなすものです。

したがって、この制度を選択した場合には、課税仕入れ高の計算を行う必要はなく、課税期間の課税売上高だけを基礎として、次の算式により納付する消費税額を計算することができます。

（卸売業者とは、課税期間の課税売上高に占める卸売に係る課税売上高の割合が五十％を超える事業者とされています。）

（限界控除制度）
課税期間の課税売上高が六千万円未満の課税事業者について、課税売上高に應じて納付する消費税額（本来納付すべき税額）の一部を軽減するものです。

詳しいことは、税務署にお尋ねください。



雨の中、力いっぱい走ったよ

第9回村内小学校親善スキー大会が2月17日田沢小学校グラウンドで開かれ、各校の5・6年生の選手が参加。あいにくの雨模様の中でしたが日ごろの練習の成果を競い合いました。

【成績】

- 5年生女子(2km) ①富井裕子(高道山小) ②山田美恵(倉俣小) ③熊倉美奈子(倉俣小) ④樋口智美(田沢小) ⑤関寿恵(田沢小) ⑥鈴木美香(倉俣小)
- 6年生女子(2km) ①鈴木孝子(倉俣小) ②山田信代(倉俣小) ③村山明子(貝野小) ④高橋仁美(倉俣小) ⑤渡辺薫子(田沢小) ⑥村山恵美(高道山小)
- 5年生男子(3km) ①清水保志(田沢小) ②根津茂(田沢小) ③鈴木学(倉俣小) ④山田寿一(倉俣小) ⑤鈴木大剛(倉俣小) ⑥中島充(貝野小)
- 6年生男子(3km) ①斎喜真琴(倉俣小) ②樋口正晴(田沢小) ③鈴木孝作(倉俣小) ④桑原享也(倉俣小) ⑤山本明宏(清津峡小) ⑥鈴木隆司(倉俣小)
- 女子リレー(2km×4人) ①倉俣小 ②清津峡小 ③貝野小 ④高道山小 ⑤田沢小
- 男子リレー(2km×4人) ①倉俣小 ②田沢小 ③清津峡小 ④高道山小 ⑤貝野小



雪や氷を解かすような暖かい話をします。出前料は投銭のみで結構。そのかわり宿泊と地酒の晩酌を一杯いただけたらいいことな

出前講談を満喫

いわれる工法で屋根工事を手掛けてきました。樋口さんは「どんな材料を使



らあ日本のマンマが食べてえ」と「寛永三馬術出世の春駒」の二題を披露。会場に詰め掛けた七十人

時々、村内にサルが出たという噂を聞きますが、三月二日、小出集落にまたまた出現。このおサルさん、だ

あれ！サルが屋根で日なたぼっこ



「葬場殿」の屋根工事に村内から三人参加

去る二月二十四日、昭和天皇の大喪の礼が東京・新宿御苑で行われ

野球の優勝旗プレゼント

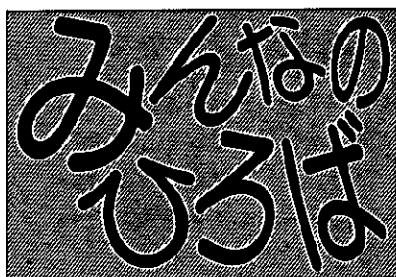


新聞販売店を経営する上山の吉楽幸司さんが創業二十周年を記念して「村のスポーツ振興に役立

根工事に村内から社寺職人の樋口武さん(千溝)・富井征芳さん(如来寺)・村山善一さん(田沢)の



大役を果たしてきた右から村山さん、樋口さん、富井さん



児童画廊



田沢小学校 3年生 小山拓郎くん

紙版画で弟とけんかをしているところを作りました。友だちにモデルになってもらい、体の曲り具合を観察しながら作ったので、力を入れている様子がよく出せました。

わが家の主役

太島 明日香ちゃん(2歳) ④7 喜一・純子夫妻の長女(芋沢)

このおひな様はね、明日香が生まれた時に買ってもらったんだよ。夜にはちゃんとほんほりにあかりをつけるのよ。外には雪だるまを作ったあんなに、あつたかいからとけちゃった。2つも作ったのに残念だなあ。お田さんは明日香が素直な子に育ってほしいんだって。



♡村山文重子行さん(東田沢) ④6

きつかけは……♡友だちが彼を知っていて、みんなでお酒を飲みに行ったりしているうちにつき合いが始まりました。第一印象は……♡にぎやかで目立つなあと思いました。♡とばけたというかひょうきんで、特別目立っていました。引かれた所は……♡勝気で元気がいいところ♡けっこう周りに気を使ってくれる所です。エピソードは……♡以前は飲みに行くといつも帰りが遅かったんです。それで家に入れないようにカギをかけたんです。♡開いている所を見つけるのに苦労しました。結局トイレの窓から入ったんですよ。子育てのモットーは……♡元気で延びやかな子に育てたいです。♡親との思い出をたくさん作ってあげたいと思っています。村への要望は……♡自然をできるだけ壊さないよう、うまく利用したりゾート開発をやってほしいです。

青森県西津軽郡岩崎村 ふるさと岩崎は、日本海側で秋田県との県境に位置しています。晴れの日は、男鹿半島が海の正面にかすかに浮んで見えます。また、津軽富士ともいわれている岩木山を望み、大小十二あると言ひ伝えられている十二湖、その中に青



土倉山 田京子さん(39)

わたしの



池といつて色が違う湖が一つあります。この山は奥が深く、山菜の宝庫でもあります。夏には観光客や帰省客でにぎわいます。冬の海も格別で、淋しくもあり、またそれでいて勇気を沸き立ててくれるような波の音が、津軽ジョングラ節の三味の音と妙にダブって私には聞こえてきます。子どものころ、夏ともなれば海にもぐりアワビやサザエなどを採り一日中海で遊び過ごしたものです。青森へお出掛けの際は、海岸線に沿って走っているJR五能線に乗ってみて下さい。日本海の素晴らしい風景が堪能できると思います。また、十和田湖、弘前城の桜、ねぶた祭りなど青森には見る所が沢山ありますので一度訪ねてみて下さい。

